

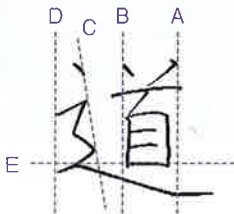
おとな字 トレーニング

講師
小高桃果さん



小泉八雲旧居（松江市）

① ワンポイントアドバイス



道のシンニョウは、みなさん苦手な形ですね。書きにくい部分は、角度や長さをよく観察して、ABCDEそれぞれの線を目安にリズムよく、ゆっくり運筆しましょう。ツクリの首はEの上に載るように。Bが文字の中心です。Cは少し斜めに。Dより左に出ないように。最後の払いAからゆっくり横へ。上達の秘訣は、ゆっくり大きく練習することです。

小高 桃果（おだか・とうか）

硬筆書道の先駆者である三上秋果の下で長年にわたり研さん。2006年、日本ペン習字研究会理事。2013年「4週間で美しく書ける！ボールペンおとな字練習帳」（日本文芸社）を上梓。著作多数。よみうりカルチャー大森講師。

〈テーマ〉

茶道が盛んな城下町

文字の外形を観察して、行芯が真っすぐ通るようにバランスよく書きましょう。

なぞって書いてみましょう。

茶道が盛んな城下町

城下町・松江は乙女の旅にぴったりの江戸時代、7代目藩主の松平治郷は「不味」の号を持つ茶人で、今でも茶道が盛んな町。銘菓もたくさんあります。城址から作家・小泉八雲の歩いた小路を抜け、武家屋敷街で抹茶とスイーツを。八重垣神社の「縁占い」も楽しみ。あまーく楽しい旅になることでしょう。